



館山市の教育施策

学校教育の充実のために、校長のリーダーシップと確かな現状分析に基づく学校経営の推進
○知識や技能の習得を通した「確かな学力」を身につけるための具体的方策や実践。
○「安全・安心で開かれた学校づくり」の更なる推進
○生徒指導の充実を図り、明るい挨拶のある元気な学校、子ども一人一人の心の居場所が確保されている学校の実現→いじめ・長欠解消・虐待の早期発見と防止

保護者の願い

- ・心、頭、体、バランスよく育てほしい。
- ・基礎学力の定着を図ってほしい。
- ・学ぶ意欲を育成してほしい。
- ・思いやりのある子どもに育てほしい。
- ・一人一人にきめ細かな指導をお願いしたい。
- ・子どもたちの安全・安心を確保したい。



北条教育の理念

子ども一人一人の人間性を尊重する教育。
子どもたちの問題意識を中心にとらえ、枠を取りはらい自由で柔軟性のある教育を目指す。

子どもの実態

- ・活動的で、創造的である。
- ・地道な活動を選けたがる傾向がある。
- ・後片付けが苦手である。
- ・挨拶や返事ができる。

目指す学校像

活力あふれ、夢が膨らむ学校
・子ども主体で、子どもにとっても教師にとっても楽しく活力あふれ、夢が膨らむ学校
・「あいさつ」と「歌声」が響く学校

目指す子ども像

未来の当事者としての自覚をもつ子
受容的批判的思考、創造的発想で自分を確かにし、断行力を発揮して
・一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現する子
・思いやりと優しさを持ち、前向きに生きる子
・やり遂げる意思と体力の向上をめざす子

目指す教師像

北条教育これからを見つめ、創造する教師
日々、研修・研究に励み
・「生きる力」である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に努めながら、教育の本質を主体的に模索する教師
・足下を見つめながらも、物事を時間的・空間的な広がりの中でも考えようとする教師
・「不易と流行」「共通と固有」等、相対する視点を持つ教師
・より良くする為には、柔軟な発想で、新たな実践にも思い切って挑戦する教師
・子どもを愛し、知り、子どもを伸ばすための努力を惜しまない教師
・教える人こそ学ぶを実践し、何より人間的にも自分を高めようと努める教師
・保護者、家庭、地域を信頼する教師
・分担に耐え、分担に生き、分担を超える教師

本年度の教育課題と取り組み

認め励まし、やり抜く子を育てよう
—自分で考え判断し、行動できるように—
(重点)①子どもに寄り添い認める。(話す。遊ぶ。ほめる。)
②学習規律・生活指導を徹底する。(学年で指導する。)
③子ども同士で学び合えるようにする。

課題へのアプローチ (教育の成果は子どもの姿で語られる)

- 〈児童への投げかけ〉
- 1 新しいことにチャレンジしよう。
→目標を決め、やり遂げよう。
 - 2 友達や先生、地域の人と仲良くなろう。
→相手を笑顔にする、挨拶や温かな言葉を届けよう。
 - 3 友達や家族、地域等に喜ばれることをしよう。
→係活動や手伝い、掃除やゴミ拾い等を進めよう。

〈教師の姿勢〉

子どもに寄り添う…話す・遊ぶ・気に掛ける

子どもと触れ合う時間を意図的に設ける。子どもや保護者の立場に立って、見える形で誠意を示す。

学習規律・生活指導を徹底する…学年職員で一丸となって指導する

黙って話を聞けるようにする。(学習規律の徹底)相手に伝わる声で、返事や挨拶をするようにする。

教師は授業の調整役となる…教師が話し過ぎない

子ども同士のやりとりを促すために、意図的な問いかけを重ねる。指導の評価をノートで確認する。

- 〈プラス〉○学年主任を中心として学年の指導・支援体制の確立。 ○独自のこだわり実践に磨きをかけ、独りよがりにならないように評価をしてもらう。 ○子どもの努力を認める「表彰の場」の新設 ○「北条っ子の10の約束」の徹底 ○電子黒板の活用 ○いじめ防止策の徹底 ○関係機関との連携

迫る努力点

(1) 質にこだわる, 授業改善

- ア 教科の本質・価値を捉えているか。授業改善の視点を教師は持つ。
- イ 主体的・創造的な学習を展開する中で、子どもの受容的批判的思考力、創造的発想力、断行力を育むための教材研究・開発に努める。
- ウ 子どもの主体的・創造的な学習を展開するためにも教えることを躊躇しない。
- エ 統合学習では「いかに」を問う前に「何のために」を問う。
- オ 子どもがわかるための授業改善, だから、「子どもの学ぶ姿」で評価する

(2) 自主・自律を目指す学級・学年経営

- ア “前年踏襲”, “汗も知恵も出さない経営”では成果が得られない。常に課題を求め, 改善のための議論を惜しまない組織体を目指す。学級目標を飾り物にしない。
- イ 「子どもが主体」を具現化するために, 「その気にさせる」手立てを工夫する。
認め合う集団づくり, 議論しあう集団づくり, 納得理解し, パワーアップを図る集団づくり。
- ウ 集団の中で, 受信力, 発信力を鍛える。
- エ 自主性・主体性の対には自己責任がある。責任を果たす人の育成を意識する。

(3) 地域との連携・協働の視点

- ア 「地域を知る, 地域を愛す, 地域を考える」人の育成に努める。
- イ 地域の教育力を教育活動に積極的に導入し, 「地域ぐるみの子育て」を推進する。
- ウ 学校支援ボランティアとの連携をさらに充実させる。
- エ 安全・安心の視点からの連携強化をする。(校外生活指導 不審者対応 災害対策)

職員構成

| | | 校長 山口 健一 | 教頭 小池 弘 |
|-----------|---|--|---------|
| 1 | 年 | 庄司ます美(主), 江澤真里, 小澤楓, 石川由美(副) | |
| 2 | 年 | 阿部奈津江(主), 秋山実希, 座間あすか(副) | |
| 3 | 年 | 蒔苗小百合(主), 齊藤裕, 黒川沙希, 石井俊道, (副) | |
| 4 | 年 | 渡邊知子(主), 足達素実, 岩崎朋美, 岩崎隆栄(副) | |
| 5 | 年 | 黒川久美(主), 中山慎之介, 斉藤優希 (副) | |
| 6 | 年 | 松本謙吾(主), 御子神久実, 三幣望未, 安藤好靖 (副) | |
| 特別支援 | | 松田千夏(主) 片山滋美(副), 鈴木信昭, 早川泰子, 押元文子, 山口恭子, 安西貴美子, 須田麻称美, 豊芝 翠 | |
| カリキュラム管理室 | | 鈴木美枝子(教務主任), 高橋あい(音楽専科), 源間隆弘(生徒指導), 菊間かほる(少人数) 高橋将平(少人数), 山崎鉄平(少人数), 川崎隆浩(初任研指導), 鈴木香(訪問相談担当) 杉田真理子(スクールカウンセラー) 武田由美(スクールソーシャルワーカー), 原晴美(学習サポーター) | |
| 事務室 | | 上田朋美(事務長), 吉野優子(養護教諭), 平島弘子(市事務), 醍醐由美子(事務補助員) | |

児童数

(R元.5.1 現在)

| 年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 知的 | 自閉・情緒 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|-----|
| 人数 | 118 | 104 | 126 | 115 | 104 | 131 | 32 | 12 | 742 |

教育課程

「たくましく現代に生きる子ども」を育成する教育課程

1. 核としての「北条プラン」

本校の教育目標「たくましく現代に生きる子どもの育成」具現化のための教育課程編成の核は, 北条プランの編成である。北条プランは, 目の前の子どもに理想として与えるべく編成した北条小独自の教育課程である。北条プランは, 常に絶えることなく, PDCA サイクルを繰り返し, 「プラン I」(1962)から始まり, 平成19年度に「北条プラン X」が完成した。

平成23年度には, 新しい理念「生きたつながりを創造する子どもたちの育成」の授業を公開した。平成27年度は, 目指す子どもの姿を「未来の当事者」とし, さらに, 子ども一人一人が主体的に未来に関わり, 未来を切り拓く力, つまり, 「創時力」を育成するために, 「受容的批判的思考力, 創造的発想力, 断行力」を身につけたい力とした。そして, 「創時力」の理念に基づくこれまでの実践による成果を, 公開研究会で公開した。今年度は, 昨年度に引き続き「創時力」を進化・深化させ, 「創時力」を身につけさせるための授業や指導のスタンダードの確立を目指す。その上で, 「北条プラン12(案)」の作成を目指していく。

2. 今年度の教育課程編成と具体的方策

本年度は, 下記にある目指す子ども像を念頭に置き, 次の具体的方策を教育課程編成の視点及び手立てとする。

- (1) 一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現する子**
(2) 思いやりと優しさを持ち、前向きに生きる子
(3) やり遂げる意思と体力の向上を目指す子

(1) 一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現する子

① 学び方を学ばせる

- ② 授業改善に努め、わかる授業を目指し、一人一人の学力を確実に向上させる
 ③ 子どもたちの主体的・創造的な学習を積極的に展開する
 ④ 学習内容を積極的に工夫する
 ⑤ 目標に応じて、学習形態を柔軟にする。

(2) 思いやりと優しさを持ち、前向きに生きる子

① 思いやりの心を持ち、前向きな子を育む

- ② 地域の方との連携
 ③ 自治的活動の推進
 ④ あらゆる場での問題解決能力の向上
 ⑤ 道徳教育・人権教育の充実

(3) やり遂げる意思と体力の向上を目指す子

- ① 体育の日を中心に、各種大会に向けた取り組みで計画的に目標を示しながら体力・意志力の向上を図る。
 ② **体力向上委員会を活性化させ、本校児童の体力面の課題を明確にして授業改善・体力向上に取り組む。**
 ③ 昼のフリータイムを活用した体力向上
 ④ 学校保健委員会を活性化させ、健康面と関連させて子どもたちの体力の向上を追求する。
 ⑤ **いろいろなことにチャレンジできる子を育てる。**
 ・ 様々な取り組みを通して、最後までやり遂げる強い意志を育てる。
 ・ 好きなこと、得意なことを増やし、自己肯定感を高める。

研究・研修計画

1. 研究テーマ

創時力 ～双極の窮究と調和～

まず、「未来は待つものではなく、創造するものである」という前提に立つ。学校教育目標「たくましく現代に生きる子どもの育成」に向かって今までは、常に未来を予測しながら、未来に生きる子どもたちの姿を模索し、目の前にいる子どもたちを育ててきた。しかしながら、社会の急速な変化や自然の驚異などによって未来を想定することは容易ではなくなっている。だからこそ、今の力で未来を創り上げていくことのできる子どもたちの育成が急務なのである。そこでは、例えば「自己実現」か「共生」かどちらかではなく、どちらも視野に入れながら、価値観を構築し、判断力、実践力をもって生きていくことのできる子どもの育成がのぞまれるのである。

2. どのように「創時力」を育むのか

「創時力」を育むための3つの力として、「受容的批判的思考力」「創造的発想力」「断行力」がある。

- 「受容的批判的思考力」とは、物事を受容的にみたり、批判的にみたりする力。
 「創造的発想力」とは、受容的批判的思考力を生かした独自の発想を生み出す力。
 「断行力」とは、前に踏み出す力。

これらの力は、「真正な学び」を前提とした「生きたつながり」、つまり、自分も他者も高め合う関わりの中で育むことができる。そのために

- ◇ 主体的・創造的な学習の展開。
 ◇ 現在を診たり未来を展たりできるカリキュラムの開発。

3. 研究・研修の内容

(1) 「創時力」の進化と深化

これまでの北条小の研究に基づいて、「創時力」について研究を深め、「創時力」を身につけさせるための授業や指導のスタンダードを確立する。

(2) 「創時力」を育むための教科の捉え

各教科等のねらいを受け、さらに「創時力」を意識した指導内容や方法の工夫について考える。
 統合学習の見直しを図り、教科との関連を深める。

(3) 授業実践

「北条プラン12」作成に向け、「北条プラン11」に基づく実践により、その効果について検証する。

本校の沿革

| | | | | |
|-------|--|-------|-------|---|
| 明治 5 | 北条・八幡・高井の三区が基本金を拠出し、学校許可を申請 翌6年認可 | 昭和 58 | 金木賢三 | 県教育委員会指定「幼小関連教育」公開研究会開催「遊ぶ力を学ぶ意欲に」交通安全こども自転車大会 全国優勝 |
| 6 | 北条学区小学校を旧長尾藩陣屋を仮校舎として開校 | 59 | | 本館アルミサッシに全面改修 言語障害教育研究会開催 |
| 11 | 三区を合併し、北条尋常小学校と改称 | | | 「望ましい運営と指導のあり方を求めて」にれの木そばに彫刻「断片」設置 |
| 12 | 長須賀編入 北条 1740 番地に新校舎完成 | 60 | | 千葉県視聴覚教育研究大会開催 |
| 大正 7 | 講堂完成 | | | 「クローズアップ北条」作成 |
| 12 | 関東大震災で校舎全壊 | 61 | | 第7回全国公開研究会 |
| 昭和 14 | 市政施行 館山市立北条小学校と改称 | | | 「学校の人間化—自己学習力の育成」学習プランⅦ作成刊行 |
| 16 | 館山市立北条国民学校と改称 | 62 | 長谷川純夫 | 「教育技術則化運動」と共同研究 |
| 21 | 和泉久雄 生活教育5か年計画を立てる。 | 63 | | 本館スカイライト・外壁全面改修 |
| 22 | (学校長) 館山市立北条小学校と改称 「コミュニティーに立つ民主教育の実践」出版 | 平成元 | | 第8回全国公開研究会 |
| 24 | 「コアカリキュラムの構成と展開」出版 | | | 「子ども文化の創造 冒険する子どもたち」大規模改修開始(屋根・サッシ) |
| | 第1回全国公開研究会 PTA 設立 | 2 | 土橋保夫 | 大規模改修完了 普通教室を特別教室に一部転用 |
| 27 | 開校80年祭記念事業実施 | 3 | | 情緒障害学級開設 |
| | 和泉久雄校長 読売教育賞受賞 | 4 | | プランⅧ作成刊行 |
| 30 | 第2回全国公開研究会「生活教育」 (生活カリキュラム 生活単元) | | | 学習のオープン化公開研究会 |
| 35 | 安田豊作「たくましい人間」教育の発想 | 5 | 柴山 齋 | 「子ども文化の創造—自己創造力の育成—」 |
| 37 | 学習の効率化をめざす「教材の組織案」 (学習プランⅠ) 作成 | 6 | | ティームティーチング教員2名配置 |
| | 精薄学級開設 | | | 第9回全国公開研究会 |
| | 第13回関東ブロック放送教育研究会 (教育近代化の基礎, 機器利用学習) | 7 | 武田金市郎 | 「新しい生活教育」 |
| | 千葉県下公開研究会(個別化と集団化) | | | 時事通信社教育奨励賞優秀賞及び文部大臣賞を受賞 |
| 38 | 「学習指導の個別化と集団化」出版 | 8 | | 文部省「読書指導」研究指定校(7, 8年度) |
| 39 | 第3回全国公開研究会(ティームティーチング・プログラム学習等提案) | | | 北条教育公開研究会 |
| 40 | 市民科公開研究会「学校教育において市民意識をどう育てるか」 土曜日をスポーツデーとする | | | 「新しい生活教育-最適空間の創造-学校のミュージアム化」 |
| | 「実践ティームティーチング」出版 | 9 | 佐藤宏武 | 本館防水工事実施 |
| | 言語治療学級開設 | | | 校庭整備(暗渠排水工事)実施 |
| | カリキュラム管理室の創設 | 12 | | 上越教育大附属小, 山口大教育学部附属小, 奈良女子大附属小で北条小学校の「統合学習」提案 |
| | 第4回公開研究会「教育のシステム化」 | | | 第10回全国公開研究会開催 |
| 44 | 新校舎竣工(現校舎) | | | 「生活力ある子どもであれ」 |
| 45 | 北条 456 番地に移転(9月) | | | 学習プランⅨ作成刊行 |
| | 「教育のシステム化実践」出版 | 13 | 安西迪彦 | 「ふだん着の総合学習」出版 |
| 46 | 千葉県視聴覚教育研究会開催 | | | にれの木広場に芝生を張る |
| | プール竣工 | 14 | | 教室用テレビすべて更新(市予算) |
| | 視聴覚教育学校部門文部大臣賞受賞 | | | VTR も併せて設置(PTA 予算) |
| | 幼児教育研究会(1年授業)開催 | 15 | | 校旗の寄贈を受ける(木更津在住山田ぬい様) |
| 47 | 高木 正 関東ブロック放送教育研究大会開催 | | | 校内 LAN 設置ネットデイ |
| 48 | (千葉県視聴覚教室研究大会) | 16 | | 文部科学省 総合学習 調査研究協力校 |
| | 教育のシステム化公開研究会「自己開発」 | | | 第11回全国公開研究会開催 |
| | 開校百年祭実施「北条小百年誌出版」 | | | 「生きることに有能な子どもを育てる」 |
| | 館山市「体力づくり」研究指定校 | 17 | 諸岡 研 | 千葉県造形教育部会研究発表会 |
| 51 | 吉田隆夫 | 18 | | 黒潮サミット開催 |
| 52 | 第5回全国公開研究会開催 | | | ネットデイシンポジウム |
| | 「創造的市民の育成」 | 19 | | 第12回全国公開研究会開催 |
| | 文部省研究開発指定校(52~54) | | | 「生きたつながりを創造する子どもたち」 |
| | (教育課程の研究開発) | 20 | 溝江 晃 | 中庭の樹木の剪定(同窓会の協力) |
| | 千葉県算数数学教育研究会会場校 | 21 | | 県指定「ちばっ子」学びフェスタ授業公開 |
| 53 | 「ゆとりと充実の実践」出版 東洋館刊 | 22 | | 千葉県学校教育功労表彰 |
| 54 | 校舎(5年棟6年棟)竣工(3月) | 23 | | 第13回全国公開研究会開催 |
| | 下真倉の一部, 北条学区に編入 | | | 「生きたつながりを創造する子どもたちの育成」 |
| 54 | 校舎(本館・低学年棟)屋根全面補修 | 24 | 八巻一哉 | 校舎耐震補強 改修工事第Ⅰ期 |
| 55 | 本館前に大木移植 | 25 | | 校舎耐震補強 改修工事第Ⅱ期 |
| 56 | 田島克巳 第6回全国公開研究会 | 26 | | 校舎耐震補強 改修工事第Ⅲ期 |
| 57 | 「学校の人間化をめざして」 | 27 | | 第14回全国公開研究会開催 |
| | 県教育委員会指定「幼小関連教育」研究指定(57・58) | | | 「創時力」の育成 |
| | PTA による青空タワー建設 | 28 | 田中順勝 | 正門・「にれの木広場」改修完了 |
| | | 29 | | 北条プラン⑩Ⅺ作成刊行 |
| | | | | 千葉県教育研究会社会科部会研究大会 |
| | | | | 安房大会にて授業公開 |